

お知らせ

宗教研究諸学会連合研究奨励賞 創設

本連合参加学会の皆様のご賛同を得て、多様な宗教研究の振興、若手研究者支援のために、この度「日本宗教研究諸学会連合研究奨励賞」を創設いたしました。本年度（第1回）の募集期間は7月1日～8月14日です。本連合参加学会の会員であればどなたでも応募可能です。どうぞ貴学会の会員の皆様に広くお知らせくださいますようお願いいたします。

募集要項と申請フォームを[本連合HP](#)からダウンロードし、メールにて申請する方式です。



メキシコ・ベラクルス 聖体祭のインフィオラータ Pcmfernandes

昨年度の活動報告



- 毎年恒例の日本学術会議哲学委員会主催・日本宗教研究諸学会連合／日本哲学系諸学会連合共催 公開シンポジウムを2019年11月30日に学術会議講堂にて開催いたしました。テーマは「世界哲学の可能性」、本諸学会連合からは氣多雅子先生（京都大学名誉教授）、末木文美士先生（国際日本文化研究センター名誉教授）にご発題いただきました。シンポジウムの趣旨、当日の発表レジュメは本連合HPにてご覧いただけます。
- この「世界哲学」の構築の試みに関しては、そのための分科会が学術会議に新たに設けられた他、刊行中の『世界宗教史』シリーズ（ちくま新書）には本連合の会員も多数執筆しています。

日本学術会議の取り組み

- 本年度は学術会議第24期の最終年度にあたり、哲学・宗教研究分野からも以下の提言・報告の発出が相次いでいます（[学術会議HP](#)にて公表）。
「道徳科において「考え、議論する」教育を推進するために」（哲学・倫理・宗教教育分科会 6月5日公表）
「人の生殖にゲノム編集技術を用いることの倫理的正当性について」（いのちとこころを考える分科会 近日中）
- 山極寿一学術会議会長他による「ポスト・コロナの世界」公開対談がHPで進行中です。学術会議哲学委員会主催・本連合共催のシンポジウムも「ポスト・コロナ」をテーマに12月5日に開催します。

運営委員会から

貴学会のシンポジウム・パネルを応援します！

貴学会が主催するシンポジウムや学会企画を、本連合から（運営委員会が審議した上で）共催／後援します。事務局にご申請ください。

貴学会の新会員の方々から、「そもそも宗教研究諸学会連合とは何か？」というご質問がありましたら、[本連合HP掲載の説明文](#)をご活用ください。

なお、2020年8月に開催の予定だったIAHR（国際宗教学宗教史学会）世界大会はCOVID-19のため中止となりました。本連合の下田正弘運営委員の基調講演も実現せず、残念なご報告となります。

発行

日本宗教研究諸学会連合事務局
お問い合わせ先
jfssr20084@gmail.com